

* 縄文王国山梨 にとっておきのお宝 *

ここでご紹介する資料は、縄文時代の人々が、現代のわたし達に数多く残してくれた文化遺産の代表です。それぞれにとっても優れたもので、国や県の文化財指定を受けたものも多く、また全国各地の博物館で開かれた展覧会などに何度も出品されたり、海を渡って外国での日本文化を紹介する展覧会に展示されたものもあります。

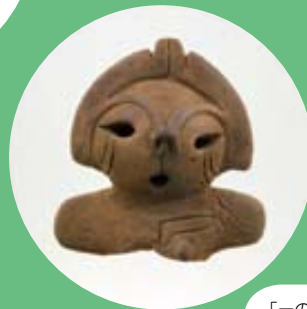
まさに、わたしたち、山梨のお宝といえます。こんな素晴らしいものを残してくれた縄文時代に、熱いまなざしをおくってくださいね。



「釈迦堂遺跡出土品」(重要文化財)

出土地：釈迦堂遺跡
(笛吹市と甲州市の境)
保管：釈迦堂遺跡博物館

大きな土器に逆巻く水の流れのようなデザインの飾りがついています。このほど修理作業が行われ、きれいな縄文の姿がよみがえりました。



「一の沢遺跡出土品」(重要文化財)

出土地：一の沢遺跡
(笛吹市境川町)
保管：山梨県立考古博物館

愛らしい表情の土偶は、県立考古博物館のシンボリックな存在にもなっています。元から胸より下が欠けて失われていますが、土偶のお祭りのようすを考えるのによい資料としても注目されます。

「深鉢形土器」(重要文化財)

出土地：殿林遺跡
(甲州市塩山土荻原)
保管：山梨県立考古博物館

大きな土器ですが、均整のとれた形と文様で、外国の人にとっても人気があります。



「鑄物師屋遺跡出土品」(重要文化財)

出土地：鑄物師屋遺跡
(南アルプス市下市之瀬)
保管：南アルプス市ふるさと文化伝承館

首から下が円錐形で、中が空洞になっているめずらしい形の土偶です。左手をおなかに、右手を腰にまわした独特なポーズに、縄文人のどんなメッセージがこめられているのでしょうか。

「硬玉製大珠」

出土地：天神遺跡
(北杜市長坂郷土資料館)
保管：山梨県立考古博物館

縄文前期のお墓と見られるところから見つかったもので、これまでのところわが国で最古のヒスイ(硬玉)ペンダントだといわれています。硬い石に、どのように穴を開けたのでしょうか。

縄文王国山梨「伝えて！じょうもん人からのメッセージ」

平成20年度文化庁芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進)

「縄文女神物語」を現在によみがえらせるミュージアムタウン形成事業 副読本

縄文王国構成館：県立考古博物館・県立博物館・釈迦堂遺跡博物館・北杜市長坂郷土資料館・
韮崎市民俗資料館・北杜市埋蔵文化財センター・南アルプス市ふるさと文化伝承館

写真提供：韮崎市教育委員会・笛吹市教育委員会・北杜市教育委員会・南アルプス市教育委員会

発行：縄文王国山梨実行委員会

発行年月日：平成21年2月8日

印刷：峡南堂印刷